



み ゆ き レ タ ー



第30回御幸祭が10月21日、22日に行われました。前日の雨と風により天候が心配されましたが、多くの方にご来場いただき、無事に2日間を大盛況という形で終えることができました。

今年度は「笑う御祭には幸来たる!」をテーマに掲げ取り組んできました。「御幸祭」と「笑う門には福来る」をミックスさせ、御幸祭ならではのテーマとしました。また、コロナ禍の規制の一つであった「マスクの着用」は、私たちの表情や感情を隠してきました。規制が緩和された今、「誰かの笑顔に誘われて笑ってしまう」そんな幸せな状態を取り戻したい、顔全体で伝わってくる大切なモノをみなさんに思い出して欲しいという思いを込めました。



第30回御幸祭運営委員会
委員長 三村 季里

当日は、各学科趣向を凝らした催し物で日ごろの学修の成果を発表しました。野外メインステージ、7号館ステージでは、御幸太鼓、軽音学部、ダンス部、演劇部等のサークルの他に、御幸祭運営委員会 企画部によるイベント、よさこいのパフォーマンス等、多くの団体に盛り上げていただきました。21日(土)には広島エフエム放送『大窪シゲキ9ジラジ』の公開録音を行い、ゲストの足立佳奈さんと上野大樹さんをお迎えして、特別な時間を過ごすことができました。学生が出店する模擬店は、去年よりも大幅に増え、それぞれの個性を発揮した活気のあるものでした。また、今年度も外部の団体にも沢山のご協力をいただき、とても盛り上がりました。

コロナの影響で、我々運営委員一同は野外メインステージを設置しての開催を誰も経験したことがなく、右も左も分からない状態からのスタートでした。不安もありましたが、「活気が戻って嬉しい、楽しかった」などのたくさんの声を聴くことができ、大変嬉しく思っております。今年の御幸祭で学んだこと、課題や反省点を来年度以降に活かし、よりよい御幸祭をこれからも創り上げていきます。

最後になりましたが、今年の大学祭が無事に運営できたことは、教職員の皆様をはじめ、地域の方々、また、準備のときから携わってくれた学生の協力があったことだと思います。厚く御礼申し上げます。今後とも、本学ならびに学生たちへのご協力・ご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。



経営学科 模擬店出店と学科展示

講師 岩本 敏裕

第30回の御幸祭において、経営学科では模擬店出店と学科展示を行いました。模擬店出店については、経営学科からの出店は5店舗となりました。「経営実践」の授業の一環として、1年生を中心に、フライドオレオ、たこやき、フランクフルト、プチパンケーキの4店舗を出店しました。また、4年生を中心とした有志メンバーも揚げ物の模擬店出店をしました。

本年度の経営学科の模擬店出店に来店して下さった方は、例年よりかなり多く、店舗はたいへん賑わっていました。1年生にとっては、はじめての御幸祭での模擬店出店という経験をしましたが、戸惑うことなく協働しながらスムーズに模擬店出店を行うことができました。また、4年生を中心とした模擬店出店は、以前からの経験を積んでいることもあるためか、売上げは5店舗のなかでトップでした。1年生にとっては、これから本格的に経営学を学んでいくうえでよい経験になったと思います。

学科展示については、教育研究内容のパネル展示にくわえ、本年度はARとモーションキャプチャの体験型展示も研究紹介の一環として付けくわえました。ARとは拡張現実のことで、現実の景色を背景に、コンピュータを使って実在しない立体物を現出させる技術です。モーションキャプチャは身体等の動きをデジタル記録し、可視化する技術です。カメラで撮



影した世界にARで現れる不思議な花、そしてモーションキャプチャで捉えられた手指の関節の動きに、特にお子様が驚き、たいへん喜んでくださいました。高度な技術を駆使しているのに、見た目では分かりやすく面白い視覚情報が楽しめるこれらの展示で、ご来客者様に情報技術を身近に感じていただけたなら幸いです。



DJ大窪シゲキさんと備後地域の産業を支える障がい者福祉サービス事業所

二つ目は【VR・ロボットを使って近未来を体験！】です。近年、福祉分野でもICTの導入が進んでいます。このブースでは介護向けロボットPepper（愛称：福ちゃん）と一緒に体操をしたり、VR（バーチャル・リアリティ）ゴーグルを使って発達障害のある人の見え方や360度広がる沖縄の海などを体験しました。コミュニケーションロボットの「かぼちゃん」や「スマイビー」もみなさんに可愛がっていただきました。

三つ目は【映画から考える社会福祉】です。昨年に引き続き、同名の講義を受けた1年生が自分で選んだ映画を社会福祉の視点で切り取り、パネル形式で発表しました。学生の視点の鋭さ・ユニークさに、来場者の方も驚いていました。

会場には、たくさんの卒業生が来てくれました。後輩たちを励ましたり、事業所の方々と交流するなど、あたたかなやり取りがあちこちでみられました。御幸祭初参加の1年生たちはこの2日間がとても楽しく、意義深い体験だったようです。「メッチャ楽しかったです！ 来年も楽しく、元気に盛り上げたいです！！」と早くも来年に向けて意気込みを語る学生もいました。皆様、次回もぜひご来場ください。福祉学科一同お待ちしております。



「Pepper」はソフトバンクロボティクスの登録商標です。ソフトバンクロボティクスのPepperを活用し福山平成大学が独自に実施しています。



こども学科 大学祭報告 講師 佐伯 岳春

こども学科の御幸祭への取り組みは、「にこここ大作戦～遊びから繋がりを～」というテーマのもと、1・2年生が各ゼミで子どもを対象としたブースの企画や学生リーダーによる全体の運営について、前期から準備してきました。

各ゼミによるブースでは、日頃からこども学科の授業を通して培っている創造力・表現力を働かせながら創意工夫を重ねて、ペープサート、アスレチック釣り堀、電車ごっこで福山ツアー、ボール入れ、ボーリング、玉入れ、ボーリング、バルーンアート、メダル作り等、多様な遊びを企画しました。

また、御幸祭前には、こども学科学生リーダーが中心となり、こども学科独自のチラシを作成し、周辺の保育所やこども園、幼稚園、公民館に配布したり、当日の円滑な運営の為に入念に準備したりしていました。

こども学科1・2年生のこうした努力が報われ、21日(土)は616名、22日(日)は739人、合計1355人の方々にお越しいただきました。各ゼミが用意したブースも大盛況で、終始こどもたちや周りの大人たちの笑顔の絶えない2日間となりました。こども学科1・2年生も、今回の取り組みを通して、保育者・教育者を目指すにあたって必要な「創造力、表現力、行動力」を養うことができたと感じています。



健康スポーツ科学科 御幸祭 感想

4年 種 友紀

先日開催された御幸祭で、私は健康スポーツ科学科のブースで吹き矢のスタッフを担当しました。2日間を通して最も印象的だったものは矢を上手く吹けたときの皆さんの笑顔です。吹き矢というスポーツを体験できる場は日常生活にはあまりありません。そのため参加して下さった方々の大半は未経験者でした。多くの方が上手く吹けるだろうかと少し不安そうな表情をしながら的の前に立っていました。それでも挑戦し、勢いよく矢が的に突き立ったとき、表情がぱっと晴れるのです。それを見て一緒に来ていた家族や友人も嬉しそうな表情をするのです。その度に、今日ここにいられて良かったと思いました。幼児から高齢者まで、誰もが楽しい時間を過ごしていたあの瞬間は素敵でした。より素敵な時間を演出できるよう、私も積極的に褒めたりアドバイスを送ったりといったことを意識し、場が明るくなるよう努めました。その際、視線を合わせるということを大切にしました。その大切さは先日の教育実習で学んだことです。上から見下ろす形で何かを伝えるよりも同じ目線に立って伝えた方が真意は伝わりやすいと思います。そういった取り組みもあって、誰もが楽しめる良い時間を作れたと思います。また、2日とも多くの方がブースを訪れてくださり、あっという間に1日が終わったと思うほど忙しかったです。その中で他の学生スタッフが上手く場を回したり、明るく大きな声で対応していたりと常に一生懸命に取り組んでいる姿が印象的でした。343名もの方々に満喫していただけたのはそんな学生の頑張り、そして先生方のご助力あってのことでした。来年以降も今年以上にたくさんの笑顔が生まれることを願っています。



看護学科 御幸祭実行委員を経験して

2年 川原 奈華

看護学部棟12号館では1階で健康チェック、オレンジリボン、癒しの空間（プラネタリウム）缶バッジ、2階で災害についての展示や遊びの空間、模擬店はバザー、フルーツ飴、アイスクリームなどを販売しました。

特に看護学部棟1階で行われる健康チェックは、看護学部の学生が血圧測定から始め、血管年齢や体組成や骨密度を測定、最後に生活指導をさせていただき、大盛況でした。今年も例年のように多くの方が看護棟にも足を運んでくださって、各ブースを体験していただくことができました。

私は今年度、御幸祭実行委員とフルーツ飴の模擬店を担当しました。まず、模擬店ではフルーツの仕入れから始め、見た目と味の試行錯誤を重ねました。また、果物を取り扱う際には、手袋やマスクの着用など衛生的な環境での加工を徹底しました。飴作りを行う際、飴の固まり具合を調整する難しさに直面しました。最初は飴が上手く固まらず、やり直しを繰り返し、多くの課題が発生しました。これらに対し、私達は協力し、結果的には様々なトラブルに対応し、経験とスキルを積むことができました。

そして、実行委員としての催し物の企画や大学の警備などを行いました。その中ではスタッフのモチベーションを維持することも必要で、長時間の勤務により疲労が蓄積されるため、適切な休憩時間を設け、仲間とのコミュニケーションを大切にすることを心掛けながら活動しました。

来年度の御幸祭では、早めに計画を立て、必要な材料や人員を確保し、役割分担を明確にすることを課題として引継ぎをしようと思っています。





海外研修report

オーストラリア研修

健康スポーツ科学科 豊田 彩水

この研修では、スポーツ心理学、テーピングテクニック、心拍数変動ガイドのほかにもたくさんの専門知識を多く学ぶことができました。プロの専門家の方々から、日本にはまだない最先端のスポーツ医科学を体験することができたと思います。いくつか受けた授業の中から心拍数変動ガイドについて紹介したいと思います。この授業では心拍数バンドというものを胸部につけ、人の心拍数を数値化することができることを学びました。この機能によって試合中の焦りや緊張がわかるため休憩中にコントロールすることができ、落ち着かせパフォーマンスをあげることができます。また、仲が良い人同士だと心拍数も同期化するそうです。ホームステイでは食べる量の多さや、家の大きさ、家の近くに野生のカンガルーがいるなど、多くの異文化を実際に体験することができました。ホームステイ先の方はとても優しく、本当に充実したホームステイでした。

大学一年生で最先端の授業、ホームステイを経験できたことは大きな財産だと思います。トレーナーというのはテーピングを巻いたりするだけでなく、マッサージや心理学等幅広い知識が必要であることを知ることができました。また勉強面だけでなく、生活面や文化、習慣も学び、様々な知識を習得できとても良い経験になりました。



オーストラリアはとても豊かな街で生活しやすいです。海外のスポーツ医科学を体験してみたい人、参加しようと悩んでいる人も是非参加してみてください!!

韓国研修で学んだこと

健康スポーツ科学科

児玉 日和

私は、養護教諭の資格取得を目指しています。この度8月に行われた韓国研修に参加し、中学校、高校、大学を訪問しました。

韓国の養護教諭は看護師資格があり、初日はその養成大学を見学しました。看護学科のシミュレーション室には病室、分娩室、新生児室など、各教室は、本当の現場が完全再現されていました。また大人から子供、新生児の人形を用い、最新技術を使ったハイレベルな処置、緊急事態を想定した場面への対処等の授業も行われていました。

中学校・高校では、学校内の教室を見学しました。学校内には、保健室のみでなく、福祉室やカウンセリングを受けられる教室など、社会面、精神面からも生徒を支えられる施設がありました。またリラックスして休憩することができる憩いの場や、集中して勉強に取り組むことができるように工夫をしたスペースもありました。韓国の学校は、生徒のことをあらゆる面からサポートする施設や設備がありました。

韓国研修へ行く前は、韓国と日本の学校は同じようなものであり、むしろ日本の方が最新であると思っていました。しかし、特に福祉室などこれまで日本では耳にしたことがない生徒の生活を支える部屋の存在等、韓国は日本よりも、生徒の福祉のことまで考えている面などが素晴らしいと思いました。今回の研修を通して、将来より良い教職員を目指していくために、教職員に必要な分野のみでなく、視野を広げて学習をすすめ、児童・生徒のことを考えた学校を作っていきたいと思いました。また、海外研修は、日本とは違う点に、学びや気づきが多くあるということを知ることができました。



令和5年度 サークル活動記録

2023/10/31

ソフトテニス部

第43回全日本大学ソフトテニス王座決定戦

6/16～18 エフビコアリーナ

男子団体 出場 女子団体 出場

令和5年西日本大学対抗ソフトテニス選手権大会

令和5年西日本学生ソフトテニス選手権大会

令和5年西日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会

7/14～18 長浜バイオ大学ドーム 他

男子団体 ベスト16

第73回中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会

8/21～25 松江総合運動公園

男子団体 **優勝** 女子団体 **優勝**

女子ダブルス **優勝**

児玉 日和(健スポ2)・国原光希(健スポ1)ペア

女子シングルス **優勝**

岡崎あゆみ(健スポ3)

第77回文部科学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会

第78回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権大会

第65回全日本学生ソフトテニスシングルス選手権大会

9/1～6 和倉温泉運動公園テニスコート ほか

男子団体 出場

女子団体 出場

男子バレーボール部

天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会広島県ラウンド

7/1～2

猫田記念体育館

優勝

天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会中国ブロックラウンド

9/9～10

ジップアリーナ岡山

準優勝

第98回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会

10/14～29

広島大学 他

準優勝

軟式野球部

第28回中国地区大学軟式野球連盟秋季リーグ戦

9/12～10/14

かさおか古代の丘スポーツ公園野球場 他

優勝

第46回全日本大学軟式野球選手権大会に出場 11/19～

陸上競技部

秩父宮杯第76回西日本学生陸上競技対校選手権大会

6/15～18

岐阜メモリアルセンター長良川競技場

出場

天皇賜盃第92回日本学生陸上競技対校選手権大会

9/13～17

熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

出場

第60回全日本35km競歩高島大会

10/21～22

高島まほろば競歩路・日本陸連公認競歩コース

出場

大学行事日程

2023	行事	学務関係
12月	9 土 公募推薦型選抜B 21 木 冬期休業開始 28 木 仕事納め	21 木 後期集中講義開始

2024	行事	学務関係
1月	5 金 仕事始め 7 日 冬期休業終了 9 火 授業開始 12 金 共通テスト会場設営 13 土・14 日 大学入学共通テスト 30 火 後期授業終了 1/31水～2/3土 一般選抜前期A日程	

2024	行事	学務関係
2月	15 木 学部学科別行事 29 木 一般選抜前期B日程 21 水	5 月 後期定期試験 14 水

2024	行事	学務関係
3月	1 金 春季休業開始 9 土 一般選抜後期日程 16 土 春のオープンキャンパス 21 木 学位記授与式(卒業式)	

令和6年度 入学者選抜日程

試験種別	試験日	学部	出願期間	合格発表	入学手続き完了日
一般選抜前期	A日程 1月31日(水)・2月1日(木) 2月 2日(金)・2月3日(土)	全学部	1月 5日(金)～ 1月24日(水)	2月 7日(水)	2月20日(火)
	B日程 2月21日(水)	全学部	2月 5日(月)～ 2月15日(木)	2月24日(土)	3月 6日(水)
一般選抜後期日程	3月 9日(土)	全学部	2月22日(木)～ 3月 5日(火)	3月13日(水)	3月25日(月)
大学入学共通 テスト利用選抜	前期 個別学力試験は課さない	全学部	1月 5日(金)～ 1月24日(水)	2月 9日(金)	2月20日(火)
	後期 個別学力試験は課さない	全学部	2月22日(木)～ 3月 5日(火)	3月13日(水)	3月25日(月)

※備考: 大学入学共通テスト 1/13(土)・1/14(日)

ご逝去

坪井 始 前学長



前学長の坪井始先生(71歳)が去る令和5年7月6日にご逝去されました。坪井前学長は、平成2年10月から福山大学工学部、平成19年4月からは本学経営学部教授にご着任され、平成29年4月から令和4年3月まで、本学学長を務められました。長年にわたり大学の運営及び発展に貢献されました。

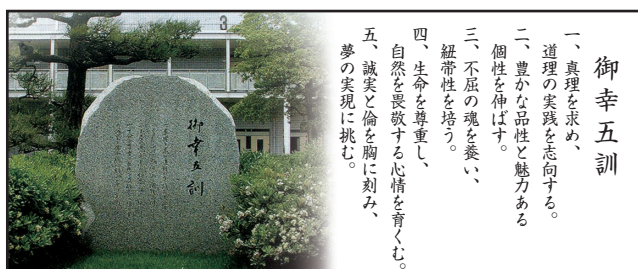
生前の多大なるご尽力に敬意を表すとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

令和5年度公開講座報告

今年も地域の方々を対象として「公開講座」を9月7日(木)～10月5日(木)で全5回開催しました。今回のテーマは「開学30周年へのカウントダウン～研究・教育・実践の現在地～」で開催しました。また、最終講座終了後に閉講式が行われ芝田委員長長の挨拶の後、5講座中4講座以上受講された50名の方に「受講証書」が授与されました。



第1講 9/7(木)	アスリートの動作分析と スポーツ現場への活用	健康スポーツ科学科 藤井 宏明 准教授
第2講 9/14(木)	会計のしくみとストーリー ～会社を数字で管理する～	経済学科 宗像 智仁 講師
第3講 9/21(木)	「発達障害」「気になる子ども」への支援と配慮 ～ダイバーシティ、インクルージョン、 やさしい心でつながる持続可能な社会へ～	こども学科 矢野川 祥典 准教授
第4講 9/28(木)	今から始めるアンガーマネジメント ～イライラ、怒りをしずめる上手な付き合い方について～	看護学科 松本 陽子 講師
第5講 10/5(木)	健康に長生きするための、 あたま・からだ・なかまづくり	福祉学科 大塚 和美 助教



御幸五訓

一、真理を求め、
道理の実践を志向する。
二、豊かな品性と魅力ある
個性を伸ばす。
三、不屈の魂を養い、
継続性を培う。
四、生命を尊重し、
自然を畏敬する心情を育む。
五、誠実と倫を胸に刻み、
夢の実現に挑む。

編集 福山平成大学広報委員会(学報作成部会)
発行 福山平成大学
発行日 2023年12月20日

福山平成大学

〒720-0001 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1

TEL 084-972-5001(代表) FAX 084-972-7771 <https://www.heisei-u.ac.jp>